

所信声明

助産：自律的な専門職 Midwifery: An Autonomous Profession

背景

助産が自律的な保健医療専門職として認知されている国もある一方で自律的な専門職としての認知を得ようと助産職が苦闘している国もある。専門職の自律性とは、助産師が助産に関する教育・規則・実践の基準を決定し管理することを意味する。専門職としての自律性の概念は、単独で、あるいは、ケアを求める女性や他の助産師から孤立して働くという意味ではない。また、「独立開業」または「個人開業」といった、助産師が業務の種類や収入源を選択する方法を表す言葉と混同してはならない。

ICM「助産師の定義¹」に定められているように、自律的な助産実践という概念が、妊娠・出産・産褥期を通して最新のエビデンスに基づいた質の高い倫理的ケアの提供や、その他性と生殖の健康に対するケアの提供を可能にし、助産師は専門的な業務を遂行することができる。しかし、世界の一部の地域では、助産教育や助産実践が助産の知識や技能を持たない人たちによって決定されている。別の地域では、助産師が助産教育や助産実践を定義していたとしても、助産業務の規則は、助産実践の範囲の管理や制限を図りたい他の保健医療専門職あるいは政府機関の手に握られている場合もある。また、助産実践は、政策、プロトコル、および契約・雇用者義務の濫用によって制限されてしまうこともある。女性や多様なジェンダーの人々が、専門的かつ自律的な助産ケアの恩恵を受けられるように、助産実践を可能にする環境整備が必要とされている²。

助産は、世界で最も歴史があり、最も尊敬される専門職のひとつである。古代の英知と哲学に根ざしており、女性および地域社会との協力関係によって社会的責任を果たしてきた。

¹ ICM.2023. 基本文書 助産師の定義

² International Confederation of Midwives (2021) Building the Enabling Environment for Midwives: a call to actions for policy makers, The Hague: ICM

助産実践には、各助産師が「助産実践に必須のコンピテンシー」³、「助産師の倫理綱領」⁴、および助産を実践する国で求められる教育・実践の規制基準に沿って、継続的に知識と技能を更新する責務が含まれている。これらの国々の規則と教育がICMの諸基準⁵に基づくことによって、自律性はより確実に裏付けされると考えられる。

所信

助産師は、自律した専門職として認識されるべきである。助産師の知識体系は ICM「助産ケアの理念とモデル」⁶を反映しており、そこでは妊娠と出産を、ケアを受ける女性と多様なジェンダーの人々が主たる意思決定者であるライフステージのひとつとして認識している。自律的な助産専門職は、周産期のアウトカムを向上させる形で、十分な情報を得た上での意思決定を促進する。

ICM は、自律的な職業としての助産を主張し、維持する助産師を奨励し支援する。

自律的な専門職であるためには、以下の要素を備えるべきである。

- 独自の知識体系
- 倫理規定
- 自治
- 構成員による意思決定のプロセス
- 規則を通じた社会からの承認

会員団体への推奨

会員団体には、質の高いケアを提供するため、助産専門職の自律性を確保し維持する政治的・法的行動の指針として、この所信声明を用いることを推奨する。

関連 ICM 文書

- ICM.助産規制の世界基準（2011）
- ICM.助産師教育の世界基準（2021）

³ ICM.2019.基本文書 助産実践に必須のコンピテンシー

⁴ ICM.2014.基本文書 助産師の倫理綱領

⁵ <https://www.internationalmidwives.org/our-work/policy-and-practice/global-standards.html>

⁶ ICM (2020) 基本文書 助産ケアの理念とモデル

その他の関連文書

- Homer et al. 2014. The projected effect of sealing up midwifery.
- Nove A, Friberg IK, de Bernis L, McConville F, Moran AC, Najjemba M, Ten Hoop-Bender P, Tracy S, Homer CSE. (2021) Potential impact of midwives in preventing and reducing maternal and neonatal mortality and stillbirths: a Lives Saved Tool modelling study. Lancet Glob Health. Jan;9(1):e24-e32.
<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/33275948/> Renfew et al.
- UNFPA. 2021. State of the World's Midwifery, <http://www.unfpa.org/sowmy>
- World Health Organisation (2016) Midwives voices, midwives realities. Findings from a global consultation on providing quality midwifery care
- Zolkefli. Z; Mumin. K; Idris, D (2020) Autonomy and its impact on midwifery practice British Journal of Midwifery. Vol 28, issue 2

2005 年、ブリスベン国際評議会にて採択

2017 年、トロント国際評議会にて見直し

2023 年、バリ国際評議会にて見直し

次回の見直し予定：2026 年

2024 年 公益社団法人日本看護協会、公益社団法人日本助産師会、一般社団法人日本助産学会 訳

「Midwifery: An Autonomous Profession」の原文については、ICMが著作権を有します。日本語版は、ICM会員団体である日本看護協会・日本助産師会・日本助産学会が、ICMの許諾を得て翻訳しました。日本語版については、日本助産学会に帰属します。なお、ICMも同様の権利を持ちます。日本語版の転載については、ICMならびに日本助産学会<https://www.jyosan.jp/>にご連絡ください。なお、学術目的で日本語版を利用する場合は、出典を明記して、自由に引用することができます。